大阪府立大学社会福祉学会　公開講座

日本人研究者が見たスウェーデンの認知症ケア
－3 市における専門組織と日常生活支援を中心に

日時：2018 年 12 月 8 日（土）　14～17 時（受付 13 時半より）

会場：大阪府立大学　中百舌鳥キャンパス　（中百舌鳥駅徒歩 15 分、白鷺駅徒歩 10 分）

学術交流会館　多目的ホール

キャンパスマップをご活用ください→　http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/nakamozu/

参加費：無料

【報告者】

清水弥生（神戸女子大学　健康福祉学部社会福祉学科）

吉原雅昭（大阪府立大学　地域保健学域教育福祉学類）

佐瀬美恵子（NPO 法人　介護支援の会　松原ファミリー）

お申込み：電子メイルにて、12/6（木）までにお申し込みください。件名は 12/8 公開講座。

氏名、フリガナ、ご所属を本文にお書きください。参加受領の連絡はいたしません。

お申込み先：kouza1208@ao.osakafu-u.ac.jp

・お申し込みが定員に達した時点で、お申し込みを終了します。

我が国でも認知症とともに生きる人々への支援は、大きな関心事になってきました。オレンジプラン、新オレンジプラン以降、国の施策でも重視されています。私たちよりも早く高齢化に対応した施策を組み立て、福祉国家として注目されることも多いスウェーデンでは、いま認知症支援はどのように行われているのでしょうか。文部科学省の研究費をいただき、3 名の日本人研究者が本年 8 月にスウェーデン中部の 3 市を訪れ、認知症ケアについて福祉職等にインタビュー調査を行いました。今回は各市の「認知症支援専門組織（認知症支援チーム）」と、認知症ともに生きる方々の「自由時間の過ごし方、活動や支援」を中心に、実践現場でお話をうかがいました。現場で得た情報や写真等をなるべく多く使って説明する集いに、する予定です。福祉、医療、自治体職員はもちろん、関心をお持ちの皆様、学生や大学院生、研究者等、どなたでもお気軽にご参加ください。

主催：大阪府立大学社会福祉学会

共催：大阪府立大学　教育福祉研究センター　ソーシャルワーク開発研究所